

鋼製スリットえん堤B型



上流域の崩壊状況



平常時



流木捕捉後 鋼製部高5m 平成3年[大分県]

鋼製スリットえん堤B型



平成11年6月29日の豪雨により、広島県佐伯区荒谷川では、約4,500m³もの土砂を捕捉した。土石流の中には多くの流木が含まれており、鋼製スリットえん堤B型の設置により流木を捕捉し下流域の被害を最小限に抑えた。

堆砂域の状況



除木前

荒谷川 流木を捕捉し効果を発揮した 鋼製部高3m
平成11年[広島県]



除木後

除木後の状況

鋼製スリットえん堤B型



鋼製部高4m 平成5年[秋田県]



鋼製部高4m 平成4年[青森県]



流木と礫等を捕捉 鋼製部高3m 平成5年[大分県]

4. 鋼製砂防構造物の効果事例



古恵川 古恵川上流部に設置した鋼製スリットえん堤B型で礫、流木を捕捉 平成4年[熊本県]



流下してきた中小礫



捕捉状況の調査